

ひょうご



みどりの風

2011.9

No.31

(題字 井戸敏三会長)

「豊かな自然環境の下で 健康に穏やかに暮らせる」という価値

3月11日の東日本大震災は、M9.0の世界最大級の地震と引き続く大津波によって死者・行方不明2万人余の未曾有の被害をもたらしました。兵庫県としては阪神・淡路大震災の被災県として関西広域連合と共に復旧・復興に向けた支援に全力で取り組んでいます。

また、東京電力福島第一原発の事故により原発から半径20km圏内は警戒区域として立入りが禁止されるなど、この地球上で最も恵まれていると言っても過言ではない、緑豊かな、そして実り豊かな農作物を育むことのできるかけがえのないわが国の国土の一部が人の手の届かない地域になっています。事故の速やかな収束と被災者の帰宅が早期に可能となることをお祈りします。

今回の震災から「豊かな自然環境の下で健康に穏やかに暮らせる」という何気ないことが、実は如何に価値あることか気づかれた方も多いのではないでしょうか。

昨年10月1日現在の国勢調査の速報値では、本県の人口も前回（平成17年）の調査から僅ながら減少となり、人口減少社会の到来が現実となってきました。また、市町別では農山村地域の町で8%を超える大幅な人口減となり、高齢化と合わせ地域社会の維持ひいては豊かな森や実りある農地の保全が危ぶまれる状況にあります。

その土地で生まれ育った子や孫たちがその土地を守っていくことは理想です。しかしそれがかなわない場合、企業や都市住民の力を借りることも必要ではないでしょうか。

そのため、兵庫県では環境への貢献のため森林保全に取り組む意欲ある企業による「企業の森づくり」、今年から5年間延長された「県民緑税」を活用した「住民参画型森林整備」、森林ボランティアのすそ野を広げる「森林ボランティア育成1万人作戦」など多様な担い手による森づくりを進めています。

こうした取り組みによって、「豊かな自然環境の下で健康に穏やかに暮らせる」という価値に魅力を感じる人々が集い、交流し、ひいては定住に結びつくような好循環が農山村社会で実現することを願っています。

社団法人兵庫県緑化推進協会

理事長 佐藤 啓太郎
(兵庫県環境部長)



2011・国際森林年

(国際森林年のロゴマークです。)



企業の森づくり 「グローリー夢咲きの森」(姫路市夢前町) 森開き(平成23年4月16日)

三木山サポートーズ

県立三木山森林公園 三木山サポートーズ事務局

「人と森林との共生」をめざして

県立三木山森林公園は、「人と森林（もり）との共生」をテーマに整備された公園です。広さは、甲子園球場の約20倍、81ha。その中に、森林（里山林）、芝生広場ほか、音楽ホール、クラフト館、バーベキュー広場などの施設が点在し、四季折々の表情を見せる自然の中で、森の生きものとふれあい、森の大切さを感じられる公園づくりを進めています。

「三木山サポートーズ」は、公園管理事務所とのパートナーシップに基づく公園ボランティアとして平成21年4月にスタートし、多様な活動を実施しています。現在、389名34グループを越える登録があり、ほぼ毎日、三木山サポートーズの活動が展開されています。



ガーデニングクラブのデザインによる花壇



チーム64(むし)による昆虫の家づくりイベント

それぞれのクラブが、月1～2回程度の定例会を実施し、さらにはイベントの出展協力、環境学習のサポートなど活動の成果を広く来園者に提供しています。この夏～秋にかけても、「ネイチャークラフト 木の枝でモアイ像づくり」「移動昆虫館」「中秋の名月茶会」「三木山落語」「環境問題講演会」等々、センターによるイベントが目白押しです。

さらには、10月30日(日)の「ひょうご森の日」には、サポートーズを中心にクラフト体験や野鳥観察、草木染めなどの体験、展示を企画しています。

三木山サポートーズの活動は、公園ホームページやブログでも紹介しています。

公園ホームページ <http://www.mikiyama.net/index.html>

公園ブログ「みきやま通信」 <http://blogs.yahoo.co.jp/mikiyamapark>

ぜひ、ホームページやブログをご覧いただくとともに、三木山森林公園にお越しいただき、三木山サポートーズの活躍をご覧ください。



昨年の「ひょうご森の日」イベントの様子



企業の森づくり活動

・シリーズ⑤・

「企業の森づくり」は社会の環境保全への関心の高まりを反映して、本年の4月末までに10の企業・団体が県との協定を締結しました。

このうち、新たに参加されました3つの企業・団体が森びらきを開催しましたので紹介します。

**<グローリー株式会社>
(グローリー夢咲きの森)**

4月16日に、姫路市夢前町菅生潤の森で社員とその家族の皆様が参加しました。

看板の除幕、記念植樹などの式典のあと専門家の指導の下で間伐等の作業を体験し、自然環境の保全について学びました。



**<黒田電気株式会社>
(企業の森・黒田電気)**

5月14日に、川西市黒川の森で社員とその家族の皆様が参加しました。

看板の除幕、記念植樹などの式典のあと森林の下草刈などの森林整備体験を行い、森づくりの大切さを学ぶとともに、地域住民の方との交流を深めました。



**<神戸経済同友会>
(神戸経済同友会の森)**

5月25日に、神戸市北区山田町下谷上の森で、会員企業・団体の方々が参加しました。

看板の除幕、記念植樹などの式典のあと4班に分かれて林内の自然観察会を実施し、今後も森づくり活動を通じて、CO₂削減に貢献するとともに会員の環境教育にも役立てるとのことです。



※7月現在3つの企業が参加に向け活動フィールドの候補地選定を行っています。

「ひょうご森のまつり2011」のご案内

10月30日(日)に淡路市多賀で「ひょうご森のまつり2011」を開催します。

森や緑は、生命の源である水や空気の浄化・供給などに欠かせない「県民共通の財産」です。

県民総参加の森づくりをめざし、森に親しみ、森を育てる大切さを感じてください。

1 日 時 平成23年10月30日(日) 10:00~16:00

2 場 所 淡路文化会館及び周辺里山(淡路市多賀)

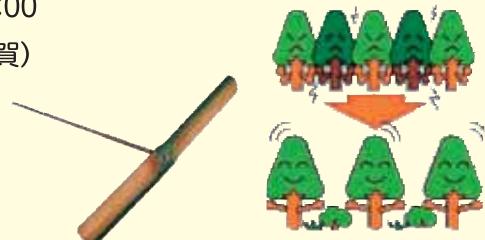
3 主な行事

(1)会 場

- 式 典：表彰、緑の少年団宣誓、キジの放鳥
- ステージ：森の音楽会、環境アニメ紙芝居など
- イベント：緑化作品コンクール展示、バイオマスマウン展、森林ボランティア交流サロン、森林・林業展示、県産木材製品の展示、企業の森づくりの紹介、災害に強い森づくりの紹介、木工クラフトなど

(2)周辺里山

- いざなぎウォーキング、竹林整備モデル林の紹介など



県下の緑化推進委員会を訪ねて

(公財)神戸市公園緑化協会

神戸市では、緑の募金に係る事務を(公財)神戸市公園緑化協会が担っています。

同協会は昭和38年に発足し、幾度かの体制変更を経て、都市緑化を始めるとする緑や花に関する公益事業を推進していく団体として、本年度、公益財団法人としての認定を受けました。

緑の募金事業としては、春と秋の年2回開催する都市緑化イベントの中で「こうべ森の学校」や「こうべ森の小学校」を運営するボランティアらが木工教室などを行い募金活動を行うとともに、市街地でボーアスカウト連合会による街頭募金なども行っています。

今年も、10月中旬に神戸総合運動公園においてグリーンフェスタこうべ2011を開催し、同様の募金活動を推進していく予定です。



木工工作教室の様子



丸太切り



「緑の募金」にご協力をお願いします



森や緑は私たちの暮らしに限りない恵みをもたらし、豊かな地球環境を残してくれています。

このかけがえのない森と緑を守り育てていくために「緑の募金」として家庭募金、学校募金、職場募金、街頭募金、団体募金、企業募金を県下各地域で行っています。

ご寄付の方法

ご協力いただく募金は、金額の多少を問わず次の金融機関へ振込をお願いします。

● 郵便払込

(社)兵庫県緑化推進協会の「払込取扱票」を使用してください。(払込料金は無料)

● 銀行振込

口座：三井住友銀行兵庫県庁出張所
普通 3198438 (振込手数料が必要)
名義：社団法人 兵庫県緑化推進協会

募金の期間

春 3月1日～5月31日

秋 9月1日～10月31日

(社)兵庫県緑化推進協会
TEL 078 (341) 4070

〒650-0012
神戸市中央区北長狭通5丁目5-18
FAX 078 (341) 4071